



動物医療費のご支援についてのご報告とお礼

～令和3年8月～

30名の方より総額 14万4,500円のご支援を頂きました。

動物医療費募金箱に 9,538円の寄付をいただきました。

動物医療費にたくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。

医薬材料費(※1)の合計と、ご支援を活用して購入させていただいたものの一部を下記に報告します。

	医薬材料費(税込)	購入品の例
令和3年8月	合計 326,586円	グレビーシマウマ“キララ”の胃潰瘍治療薬・その他胃腸薬各種・鎮痛薬・抗生剤・輸液剤・カテーテル等の点滴器材 ヤギ“ゆい”の毎日の神経治療薬・貧血の薬・外傷治療用テープ カンガルーのカンガルー病治療薬(抗生剤) シタツンガ“ツンタ”の皮膚治療薬 ラマ“ミーチョ”の利胆剤 他、駆虫薬、鎮静薬、皮膚外用薬、酸素、血液検査消耗品など多数

※ 上記のほか、多くの動物たちの治療と病気の予防のためにご支援を使わせていただきました。

盛岡市動物公園 ZOOMO では、これまで以上に動物たちの健康診断を行うなど、病気の早期発見と予防に力を入れています。また、岩手大学など高度医療を行う専門機関のご協力も得ながら、診断のための検査や治療等についても積極的に行うことで、動物たちの医療環境の向上を目指しています。動物たちの検査や治療にはお金がかかりますが、当園の場合、動物たちに十分な治療と検査を行うためには、年間で動物医療費【医薬材料費(※1)が約240万円、検査委託費が約60万円(※2)】が必要です。しかし、現状では年間約100万円の医療費が不足しています。

そこで、令和2年9月末より、HPやSNSで動物医療費のご支援をお願いしたところ、目標の100万円を越えるたくさんのご支援をいただきました。動物医療費が充実したことで、これまで以上に治療の選択肢が広がったことを実感しており、ご支援くださったみなさまには改めて感謝申し上げます。今後もみなさまからのご支援は動物たちの医療のために使わせていただきます。さらなる医療環境の向上のため、引き続きご支援をお願い申し上げます。

(※1)内服薬・外用薬・輸液剤・ワクチン・駆虫薬・消毒剤・サプリメント・麻酔薬・検査薬・消耗品など

(※2)血液検査・細菌検査・ウイルス検査・ホルモン検査・病理組織検査・外部検査依頼(CT・MRI・内視鏡など)

注意: 医薬材料費を使用し、一部の検査を行うこともあります。

動物公園 ZOOMO 病院チーム
獣医師 松原ゆき・滝本明日香・辻本恒徳